

## 「学齡期版上級指導者検定講習」

上級指導者検定は、コンテンツ（講義）、スキル練習、筆記テスト、面談を実施します。下にそれぞれの分野の注意点、ポイント等を記載しておきますので、これらの点に注意しながら講座練習を行ってください。

また、上級指導者検定受験のためには、6回セッションを最低1回は実施していることが、条件となっています。講座は6人程度の講座形式が望ましいが、人数の条件が整わない場合は、職場やご家庭内でおひとりのお相手でもいいので、申請書提出の上、6回セッションを行って下さいますようお願いいたします。

持参品：ガイドブック、テキスト、スキルカード、壁チャート、DVD（PCを使用する場合は持参）

★**コンテンツ（講義）** …20分程度指定されたセッションを行い、フィードバックを受ける  
講座はガイドブック通りに行くこと。（できるだけガイドブックの言葉を使用する。）

アクティビティ（活動） ・ ワークがガイドブック通りにできるか。

DVDを使ったロールプレイの指示等がスムーズに行えるか（セリフも）、タイトル部分も練習を。

講座中の質問への対応も適切か。 講座を進める時、立ち位置などは受講者への配慮ができているか。

機器操作（機器の準備・接続・設定含む）、DVDの頭出しや操作、切り替え等がスムーズに行えるか。

など。

壁チャートをパソコンではなく、手作りのボード等で提示するのもOKですが、DVDは必ず見てもらわなければなりません。パソコンで見せるのか、DVDプレイヤーなどを使用するのか各自でお選びください。

壁チャートをPCで提示される場合は、アニメーションの設定や文字の配置等にも配慮され、受講者が集中して講座に取り組めるように作成・画面調整していきましょう。

プロジェクターを使用される方は出来るだけご自分のプロジェクターをご使用ください。

会場のプロジェクターを使用される場合でも、設定・調整はご自分で行っていただきます。

（予め、その旨をお伝えください。PCとの相性で映らない時は減点対象となります）

時間管理が出来ているか。

コンテンツは約20分程度実施していただきます。実施範囲は当日指定されます。

ワークやアクティビティ等の時間はワークブックの時間を参考に練習して下さい。

QC（クオリティーコンポーネント）も評価の対象です。

声の大きさやトーン・笑顔・視線・その他受講者に対する配慮等。声の小ささは致命傷になります。

★**スキル練習（S1～S5）** …指定されたスキル練習（ガイドブック）を行い、フィードバックを受ける  
受講者に対して適切にセットアップできるか。

受講者が親役、指導者が子役をして、家庭で親子が会話をしているようにロールプレイをしていただくセッティングをする。（新しいガイドブックには記載されていますが、セットアップ用のセリフのひな型があります。講習当日、検定当日も見ながら行えます。）

スコアを正しくつけられるか。

受講者のロールプレイを見て、+、-、Pを正しく評価できるか。（結果のサイズも重要です）

スコアに従って、正しくフィードバック（FB）できるか。

見せて話すを用いて内容を的確に、FBの手順通り出来ているかを評価します。検定当日もFBの手順を見ながらお話しいただくことはできますが、定例文を暗唱できるくらい繰り返し練習して下さい。

QC（クオリティーコンポーネント）も評価の対象です。（上記内容と同じ）

★**筆記テスト** …40分

基本事項（定義、ステップ、いつ使うか、ポイント）等についてのテストを行います。

すべて記述式のテストです。（部分点あり） 対策としては、テキストを完読し、ガイドブックのA（アスク）の答えを何も見ずに言えるようにしてください。

★**面談** あなたにとってコモンセンスとは？（ご自身のお言葉でお聞かせください） など